



# 浦添市医師会報

The Journal of the URASOE Medical Association

新春号

Vol. 96

2025 (令和7年)

謹賀新年

pickup

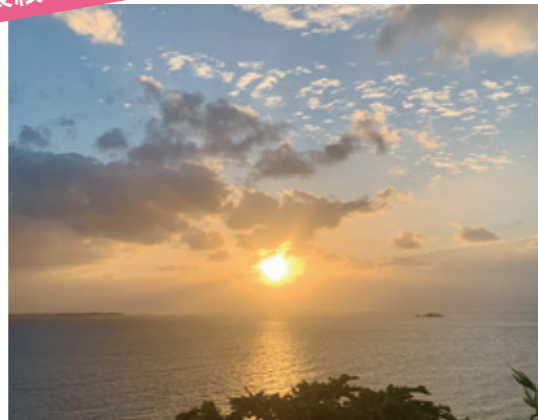
令和7年新年のご挨拶  
第25回うらそえ市民公開講座  
第63回地区医師会連絡協議会  
浦添市医師会忘年会

# CONTENTS

- 01 新年のご挨拶
- 02 第25回うらそえ市民公開講座報告
- 05 第65回浦添市医師会ゴルフコンペ報告
- 08 第63回地区医師会連絡協議会報告
- 12 学術講演会  
第153回浦添市医師会学術講演会  
「膝痛治療の最前線 海外で学んだ知見と最新のアプローチ:診断～治療の選択肢まで～」  
同仁病院 整形外科 医長 島川 朋享先生
- 16 令和6年度多職種連携・浦添市介護支援専門員等従事者研修会報告
- 18 令和6年浦添市医師会忘年会
- 20 新開業紹介  
てらすクリニック 院長 後藤 大智先生
- 21 表彰
- 22 表彰 令和6年度春の叙勲 狩俣陽一先生瑞宝双光章受章
- 24 入会・退会・異動報告
- 25 訃報
- 26 理事会報告
- 28 講演会・研修会等のご案内  
事務局からのお知らせ
- 30 編集後記

浦添市医師会提供ラジオ番組  
「ゆんたく健康トーク」出演予定

表紙の写真



～ 2025年 初日の出 ～

2025年(令和7年)が幕を開けました。  
水平線の彼方、雲の切れ間から顔を覗かせる真っ赤な太陽(初日の出)を皆さんはご覧いただけただでしょうか?  
昨年は、元日の能登半島地震発生により日本全体が重苦しい雰囲気でのスタートでした…。復興も道半ばですが、能登地方の安寧を祈念しつつ、新年が皆様にとって幸多き一年となりますようにお祈り申し上げます。

# 新年のご挨拶



会長 洲鎌 盛一

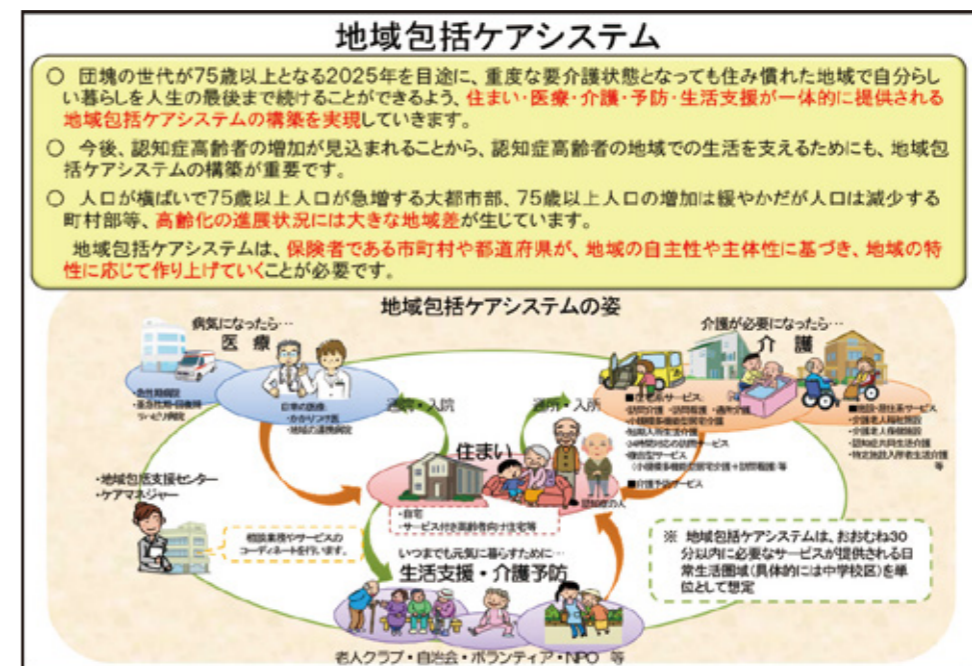
新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、旧年中賜りましたご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。昨年は医療、介護、障害福祉サービスのトリプル改定、マイナンバーカード健康保険証運用の開始等がありました。今年の感染症の動向としては、COVID インフルエンザ AH3, COVID-19 XEC 型が注目されており、新たな感染の波が危惧されています。また、昨年元旦に発生した能登半島地震の災害は記憶に新しく、私たち沖縄県においても災害医療に強い関心を持たなければならないと思っています。このような沢山の課題を抱えながらの令和7年新年の幕開けです。

県地域医療構想ですが、令和7年度も、医療介護総合確保促進法に基づき、令和6年度沖縄県計画の基本的な考え方が実行されていきます。国は、持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律に基づく措置として、地域において効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築することを通じ、地域における医療及び介護の総合的な確保を促進しています。地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業、地域の実情に応じた在宅医療の提供体制を強化する事業、離島地域の医師・看護師等を確保するための事業、質の高い医療を提供するための人材育成事業及び勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業等に取り組んでいます。

介護分野は、介護サービス基盤の充実に向けた介護施設等の整備に関する事業並びに高まる介護ニーズに対応するため、介護職員の参入促進及び労働環境・処遇の改善に向けた取り組みを充実させるとともに、介護人材の確保に関する事業に取り組んでいます。

浦添市医師会としては、理念である“病診行連携”を基に、かかりつけ医・病院、在宅部門、介護部門・行政が連携し浦添市における地域包括ケアシステムを推進していきたいと思ひます。

纏まりのないような新年挨拶文になりましたが、今後、浦添市医師会としてどのようなことに取り組んでいくのか、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。本年が皆様にとって、心身ともに健康で、よき未来、希望の持てる令和7年になりますよう祈念いたします。



## 第 25 回うらそえ市民公開講座(報告)

日 時：令和6年9月12日（木）18：00  
場 所：アイム・ユニバースてだこホール大ホール



副会長 照屋 徹

令和6年のうらそえ市民公開講座は、従来の教育講演形式を変更してドキュメンタリー映画「ケアを紡いで」の公開となりました。

松本哲治浦添市長のご提案を受け、実行委員会では4月25日に沖縄市にある宮島真一さんが代表を務めるシアタードーナツ・オキナワにおいて同映画の試写会を行い、市民公開講座として妥当か否かを検討しました。市民公開講座の25回という節目にもあたり市民の皆様にとりまして良い機会になるであろうとのことで公開講座での映画上映会を決定いたしました。

ご覧になられていない皆様には一部ネタバレもあるのでご容赦いただきたいと思えます。本映画では、病院勤務をしていた27歳女性看護師の舌癌 stageIVの手術後を追っています。術後の合併症として構音障害が生じるのですが、コミュニケーションが取りにくくなったことでの社会からの疎外感を実感する場面から始まります。主人公の年代におけるがん患者をAYA (Adolescent&Young, Adult) 世代といい、主人公は高齢者とは異なり公的福祉サービスの不十分さに直面します。主人公は元同僚のサポートで現状を打開することが出来たのですが、AYA世代の一番の問題が生活や治療にかかる経済的な面であることが分かります。また、キャリアアップや結婚、子育てなど、人生の中で様々な経験をする時期に治療を優先しなければならない葛藤などが感じ取られました。福祉をどう活用し自分らしく生きることが出来るのか、主人公が生き抜いた記録は市民の皆さまはもちろんのこと、われわれ医療従事者にとりまして改めて考えさせられた内容でした。

映画上映後の第2部では、松本哲治浦添市長とシアタードーナツの宮島真一さん、藏下要浦添市医師会副会長、私、照屋でのトークセッションを行いました。藏下副会長にはAYA世代における治療や経過の特徴を説明していただきました。松本市長からは行政の立場からの取り組みをご紹介いただきました。医療機関においても行政に対しても、自身で考え込むのではなく、手を挙げ困っていることを訴えることが大事であることを市民の皆様には認識していただいたと思います。また、宮島さんには映画を通して感じることを、そして考え学ぶことの大切さを力説していただきました。

例年とは異なる映画上映による市民公開講座でしたが、アンケートでは映画上映について、そして映画の内容ともに概ね好評でした。今後も市民の皆様が興味をいただける市民公開講座を企画していきたいと考えております。医師会会員の皆様には引き続きご意見やご協力を宜しくお願いいたします。

## うらそえ市民公開講座に参加して



副会長 藏下 要

今回のうらそえ市民公開講座は初めてドキュメンタリー映画上映を行い、これまでのような一つのテーマに沿って講演会+パネルディスカッションが進められてきたパターンとは異なる形式となりました。今回のドキュメンタリー映画上映では、医療や介護の従事者、がんサバイバーの方、がん患者さんのご家族の方、福祉行政に携わる方、あるいはそのいずれでもない一般の方など、会場にいた皆さんのそれぞれの立場でいろんな意味の捉え方があったのではないかと思います。

上映後のトークディスカッションの中でも登壇者のそれぞれ異なった視点からの意見交換がありました。今回の市民公開講座を通して、がん患者さんのケアについて地域社会が正しく理解し、考えてくれるきっかけになってくれたら嬉しく思います。

## うらそえ市民公開講座に参加して



シアタードーナツ・オキナワ 代表 宮島 真一

私は小さな映画館の経営者として、いつもイメージしていることがあります。それは、上映している映画を鑑賞された方々の人生が、少しでもポジティブな気持ちになって作品が持つテーマやメッセージを反芻し、それぞれの日々のコミュニケーションが豊かになってくれたら嬉しいということ。今回の講座では、過去に上映していた映画『ケアを紡いで』（監督：大宮浩一）の鑑賞会が講座として採用され、多くの参加者の皆さまに27歳でがんを患った看護師の日々の記録を観ていただけたことで、誰の人生にも公平なケアが必要だというメッセージを伝える時間が持てました。有難いことです。

上映後のトークセッションも非常に有意義だったと感じています。映画のチカラというのは、鑑賞後に感想や意見をシェアした時に発揮されます。常に、問いの絶えない人生を豊かなものにしてくれる講座をこれからも継続していただけることを願います。

## 第65回 浦添市医師会ゴルフコンペ

日時：令和6年9月22日(日・祝)7:24  
場所：琉球ゴルフ倶楽部



副会長 照屋 徹

令和6年秋分の日の浦添市医師会コンペは例年通り琉球ゴルフ倶楽部において前半は東コース、後半は南コースにて開催されました。8月末に近隣に開業したコストコ渋滞が危惧されましたが、全く混雑することなく定刻通りにスタートすることができました。

当日は言い訳の出来ない晴天のもと、洲鎌盛一会長を始め3組10名のご参加をいただきました。琉球ゴルフ倶楽部特有の深いラフに苦しめられましたが、怪我や事故なく終えることができました。

結果は、優勝は上原哲夫先生、準優勝が平安良雄先生、3位多々羅靖弘先生、ベストグロス賞は仲宗根豊先生でした。ドラコン賞は東9番と南9番はともに仲宗根豊先生、ニアピン賞は東4番では該当なし、東7番は比嘉清志郎先生、南2番は洲鎌盛一会長、南7番は平安良雄先生が獲得されました。

ラウンド後の表彰式では、ベストグロスでありドラコンを総取りされた仲宗根豊先生の満面の笑みと、洲鎌会長が重鎮の多々羅靖弘先生とのラウンドで貴重な時間を過ごすことが出来た、と述べられていたことがとても印象的でした。

次回の春分の日は令和7年3月20日(木)に予定しております。次回のコンペから3組限定で先着順となる予定です。多くの先生方のご参加をお待ちしております。



(司会) 照屋徹副会長



(挨拶) 藏下要副会長



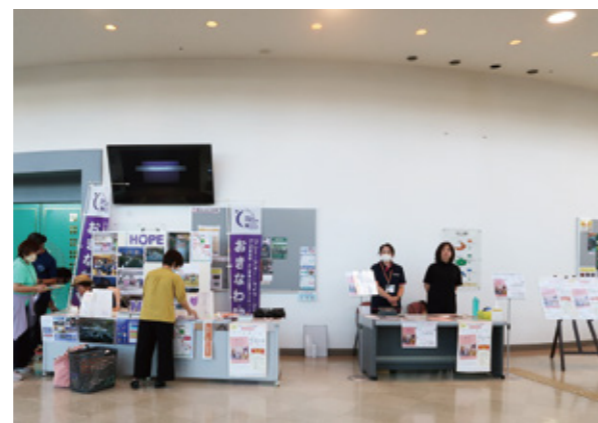
松本哲治浦添市長の挨拶



シアタードーナツ・オキナワ代表宮島真一さん



トークディスカッションも盛り上がりました



会場ではDVDとパンフレットの販売とリレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわの紹介も行いました



お疲れ様でした!

## 第65回浦添市医師会ゴルフコンペ結果

<順位>

優勝	上原哲夫 先生	乳腺・甲状腺クリニックうらそえ
準優勝	平安良雄 先生	平安病院
3位	多々羅靖弘 先生	浦添中央医院
4位	仲宗根 豊 先生	なかそね内科・循環器科
5位	宮里 聡 先生	みやざと整形クリニック経塚駅前
6位	比嘉 清志郎 先生	同仁病院
7位	石川 真 先生	牧港眼科
8位	照屋 徹 先生	ていーら整形外科
9位	洲 鎌 盛一 先生	牧港中央病院
10位	比嘉 明 先生	比嘉眼科

<各賞>

優勝	上原哲夫 先生
準優勝	平安良雄 先生
3位	多々羅靖弘 先生
ラッキー7賞	石川 真 先生
ベストグロス賞	仲宗根 豊 先生
ブービー賞	洲 鎌 盛一 先生
ドラゴン賞	仲宗根 豊 先生 (東9)
	仲宗根 豊 先生 (南9)
ニアピン賞(3本)	なし (東4)
	比嘉 清志郎 先生 (東7)
	洲 鎌 盛一 先生 (南2)
	平安良雄 先生 (南7)
ブービーメーカー賞	比嘉 明 先生



気持ちの良いお天気の中スタートしました!



優勝の上原哲夫先生おめでとうございます!



2位の平安良雄先生、3位の多々羅靖弘先生、おめでとうございます!



和気あいあいとした表彰式になりました♪

## 第 63 回地区医師会連絡協議会(報告)

会長会議 / 協議会

日 時：令和6年10月12日(土) 17:30

場 所：ラグナガーデンホテル



会長 洲鎌 盛一

2024年10月12日(土)、第63回地区医師会連絡協議会が浦添市医師会担当のもとにラグナガーデンホテルにて開催されました。藏下要副会長の司会進行で始まりました。連絡協議会要点の報告にあたり、プログラム最初の、担当地区会長挨拶の一部を紹介します。

私たちの浦添市は沖縄県中部と南部の間に位置し、人口約11.5万人、65才以上の高齢化率20.3%で、沖縄県の22.6%に比較し低い傾向にある市です。人口的、地理的にみて行政との連携を含めて、医師会活動(例えばコロナ禍のワクチン集団接種)を行っていく上ではちょうどよい環境にあります。会員数の内訳はA会員82人、B会員177人です。

基本理念1. かかりつけ医機能の推進、2. 病診行連携、3. インフォームドコンセントの推進、4. 積極的な情報発信をもとに地域社会へ貢献できる医師会として活動しています。

今回の連絡協議事項のテーマとして、地域包括ケアシステム構築に向けた各地区医師会での取り組み～救急病院の逼迫緩和目的としての急性期・在宅とのネットワーク作り～を取り上げました。今後の医療の在り方として、救急病院逼迫の問題だけでなく、急性期・慢性期・在宅医療・訪問看護・行政のそれぞれが連携を取り合って、患者さんが人生の最後まで、住み慣れた地域でケアを受けられるようにしていく事は大切なことだと考えます。

会長挨拶に続き、各地区医師会報告(浦添、北部、中部、那覇、南部、宮古、八重山)は6分以内の時間制限がありましたが、各地区医師会とも要点をしっかりと発表していただき、それぞれの医師会の活動状況内容の情報共有ができました。浦添からは地域医療担当理事の大瀨篤先生が発表しました。プログラムの報告事項として①災害医療に関する浦添市との意見交換(浦添市医師会)②離島委員会(仮称)の設置に係るアンケート結果(沖縄県医師会)③会員の医業経営支援(沖縄県医師会)がありました。その後は次回協議会の担当地区医師会会長挨拶(八重山地区医師会 宮良長治会長)、沖縄県医師会会長挨拶及びコメント(沖縄県医師会 田名毅会長)と進行了しました。最後に閉会挨拶を浦添市医師会 宮良球一郎副会長が努めました。

引き続きの懇親会はラグナガーデンホテル(羽衣の間)で、各地区医師会からの参加者のおもてなしを行い、料理、アルコールも入り大変盛り上がりしました。

地区医師会連絡協議会を終えての感想です。沖縄県の各地区医師会の連携・連帯・情報共有の場としての協議会の継続を強く感じました。世界・政治・社会情勢が変化し続ける状況の中、地域医療構想を踏まえて、医療を携っている各地区医師会はどのような役割を担っていくのか、県医師会とは別の角度から情報発信の必要性があると考えました。



(司会) 藏下要副会長



会場の様子



(開会挨拶) 洲鎌盛一会長



大瀨先生(浦添)



山田先生(北部)



多鹿先生(中部)



嘉数先生(那覇)



永山先生(南部)



岸本先生(宮古)



岡本先生(八重山)



田名会長(沖縄県医師会)



(閉会挨拶) 宮良 球一郎副会長

<会長会議>



<懇親会>



(司会) 藏下副会長 (乾杯の音頭) 山本先生

乾杯の様子

会場の様子



洲鎌会長 (浦添)



田名会長 (県医師会)



友利会長 (那覇)



石川会長 (北部)



今井会長 (中部)



湧上会長 (南部)



竹井会長 (宮古)



宮良会長 (八重山)

第 63 回地区医師会連絡協議会 懇親ゴルフコンペ

令和6年10月13日 (日)  
琉球ゴルフ倶楽部



(1組)  
上原 秀政 先生 (八重山)  
外間 英之 先生 (那覇)  
平安 良雄 先生 (浦添)  
藏下 要 先生 (浦添)



(2組)  
岸本 邦弘 先生 (宮古)  
上原 哲夫 先生 (浦添)  
比嘉 明 先生 (浦添)



(3組)  
中村 献 先生 (宮古)  
宮国 孝男 先生 (浦添)  
比嘉 清志郎 先生 (浦添)



<優勝>  
上原 哲夫 先生



<準優勝>  
比嘉 清志郎 先生



<三位>  
平安 良雄 先生

## 浦添市医師会学術講演会

## 第153回浦添市医師会学術講演会

日 時:令和6年11月20日(水)19:00

場 所:浦添市医師会事務局・ZOOM

日本医師会生涯教育講座1.0単位

カリキュラムコード:61(関節痛)、62(歩行障害)



## 『膝痛治療の最前線』

## 海外で学んだ知見と最新のアプローチ:診断~治療の選択肢まで』

講師:同仁病院 整形外科

医長 島川 朋享 先生

座長:ていーら整形外科

院長 照屋 徹 先生



今回このようなご機会を与えてくださいました、浦添市医師会の会長、副会長の皆様にご挨拶いたします。私はもともと東京生まれ、小中高は暁星という学校でサッカー部としてインターハイや全国大会に出場するチームでした。自然とスポーツに関わりたくと東京医科大学を卒業後はスポーツドクターへの道を探しました。しかしいくら探しても日本にはその道はなく、まずは医師として診断能力、そして救急の初期診療ができることを求め非常に教育的な浦添総合病院での研修を始めました。宮城征四郎先生から教えていただいた「患者さんの病気は突然発症するわけではなく、その人の背景や人生が関係して生じている。」という言葉は今も臨床でとても役立っています。ちょうどその当時回った乳腺外科では宮良先生や藏下先生に、乳がんの患者会への出席を促され、参加したのを今でも覚えています。患者会にでると病院にいる時と違って、自然に患者さんが本当に思ったことをはっきりと話されていたのをみて衝撃的でした。医師は病院にとどまらず地域に出て行くことの意味を初めて知りました。

その後整形外科研修を行いました。まだまだスポーツドクター、整形外科医として自分が中途半端なレベルであることを自覚していました。膝痛でサッカーができず、痛みをなくして復帰したいという50代男性に対して人工関節置換術を行い、結果的にサッカー引退へと追いやってしまったこともありました。このことは人生にとっても大きな心残りとなりました。

その時たまたま、アジアサッカー協会のTravelling fellowship programでカタールのAspetar hospitalに1週間見学しました。世界中からスポーツドクターや整形外科医が集まっていて世界トップレベルの研究や手術を行っていました。その素晴らしい環境に感銘を受け、これはまたとないチャンスだと思い、整形外科部長に「ここで働きたい」と申し出ました。そしてその後1年経ち手紙が届き、世界への門戸が開けました。

初の海外生活でしたがとても楽しい1年でした。その病院では世界中から様々な整形外科医が様々な手術を行っていて、手術の選択肢の多さは患者さんのためにメリットになると強く思いました。カタールにいた整形外科医からカナダで整形外科をもっと学びなさい、と言われその後さらに1年間、スポーツ整形外科医としてカナダで1年間働きました。その時に初めて「スポーツ復帰のできる膝骨切り術」という手術と出会うことができました。さらに整形外科医としての教育システムが進んでいて多くのことを学ぶことができました。その中で膝痛の方も突然痛みが出現するのではなく、その人の背景・仕事・スポーツ・人生と色々なことが関係していることを学びました。(宮城征四郎先生から学んだことと同じでした)。ただ執刀の経

験はまだまだ少なかったため、日本で最も膝骨切り術を行っている福井県春江病院の中村立一先生のもとで2年半500件の膝骨切り術を経験させていただきました。その後「治療の選択肢の多さ・患者さんのために」というモットーのしっかりとした医療法人八重瀬会 同仁病院に2021年~赴任させていただきました。当時骨切りはほとんど行われておりませんでした。研修医時代に学んだ「医師が外に出る重要性」も意識し、市民講座、勉強会などを定期的に行い、この数年間で年間100件を超える件数となりました。

膝について今までは徐々に歳と共に悪化して皆一様に膝の隙間が狭くなるものだと思われていました。しかし、最近ではリスクとして、もともとO脚・X脚といったアライメント(骨の並び)を持っている方、さらに遺伝、肥満、大腿四頭筋の筋力低下などがリスクとしてあり、半月板損傷、靭帯損傷、手術などをきっかけに急激に悪化してくることがわかってきました。また職業やスポーツとの関連が指摘され、歩き、しゃがみ込み、重たいものを持つといったこともリスクと言われていました。実際に外来をやっているだけでもこれは非常に当てはまっています。ですので、外来でもぜひ膝の家族歴、仕事、スポーツなどについて伺っててください。

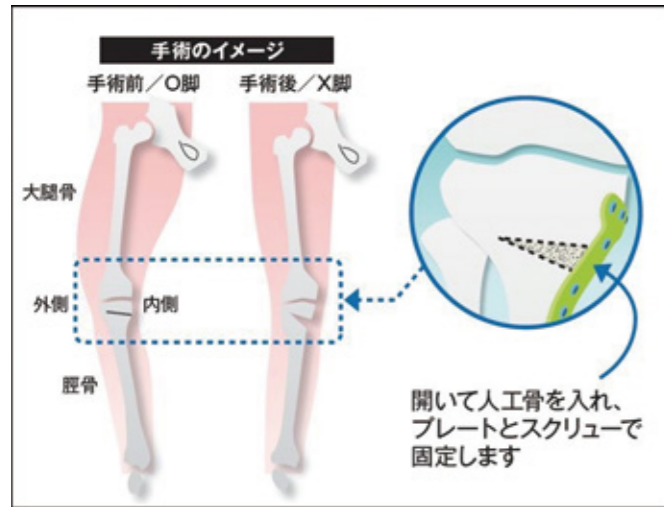
では急激に悪化する時はどういう時でしょうか?膝を曲げたり、立ち上がる時に突然膝に痛みと腫脹がきた。そういう瞬間に先ほど記載しました半月板損傷が生じていることが多いです。多くのかたがその時点で病院を受診しますが、レントゲンでは骨に異常なし、ということで帰されてしまいますが、MRIを撮影してみると、半月板損傷や軟骨損傷を認めることがとても多いです。その後急激に悪化し、膝の半月板は逸脱(外にとびだす)が生じ、軟骨の損傷も進みます。半月板や軟骨に自己再生能力はほとんどなく、元に戻ることは決してありません。ただし痛みはずっとあるかというところではなく、よくなったり悪くなったりを繰り返しながら膝の機能は低下していきます。そのうち膝の後方が痛くなり、伸ばして歩くのが辛くなり膝を曲げて歩くようになります。そうすると股関節や腰を曲げて歩くこととなり隣接関節への悪影響も生じるというわけです。ではそうなる前にどういう治療法があるのでしょうか。

今まで膝の変形に対しての治療は、関節を金属に置き換える「人工関節置換術」が主流でしたが、最近では「骨切り(こつきり)」という手術も増えています。これは変形性膝関節症やクッションである軟骨や半月板の損傷、などに対して行われる治療法です。ご自身の膝の関節を残すことから別名「関節温存術」とも呼ばれ、スポーツや仕事復帰がしやすい!といわれています。特に活動性の高い方に行うことが多く、年齢の制限などはありません。膝も「早期発見・早期治療」という考え方が出てきており、早期に「骨切り術」を行い痛みのない人生を送ろう!という考え方が少しずつ認知されてきています。

病院ではどのようなことをするのでしょうか?まずは患者さんに今までの膝についてのお話をお伺いし、O脚の度合いを特殊なレントゲンでチェックします(O脚の方は体重の軸が膝の内側にあり膝の内側を傷めやすいのです)。さらにMRIで半月板や軟骨のすり減りについて調べます。レントゲンで異常がなくても、半月板や軟骨が傷ついている方は、実はたくさんいらっしゃいます。検査後に、今後の人生(趣味や仕事)を伺いながら、保存治療(リハビリや注射)や手術などについて一緒に相談します。O脚の方の場合、膝の外側は綺麗に残っていることも多く、そちらに体重の軸を移すというのがこの「骨切り術」です。半月板の治療も同時に行うことができ、手術時間は90分程度で入院は約2-3週間です。もちろん全てが骨切り術で対応できるわけではございません。UKAやTKA、さらに再生医療も含めて様々な選択肢を持って様々な人生を歩まれてきたその膝の治療法を検討しています。

ただし、膝だけを治せばよいわけではありません。膝の悪い方の中には、特に本県では肥満や生活習慣病を持っている方も多く、膝への負担を減らすためにも、一緒に改善していった方が良く、と考えています。これは私のみならず浦添市医師会や他科の先生との協力も当然必要になってまいります。人生100年時代です。膝の治療法はいくつもあります。健康寿命を延ばすためにも、悩んでいる方はぜひともご相談、ご紹介くださいませ。どうぞ今後ともよろしくお願いたします。

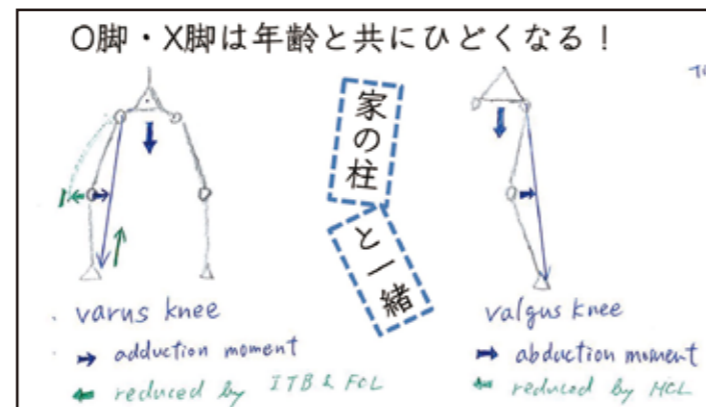




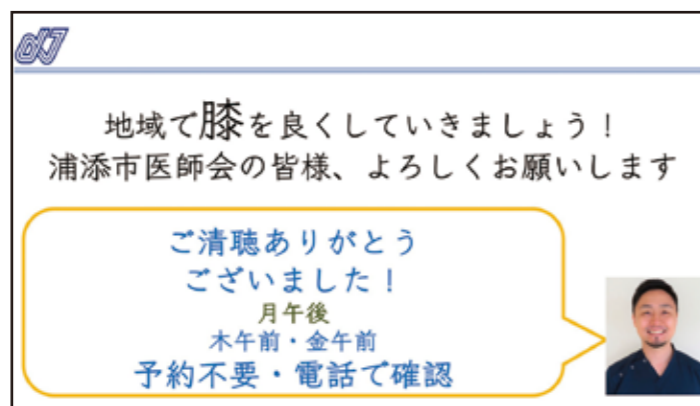
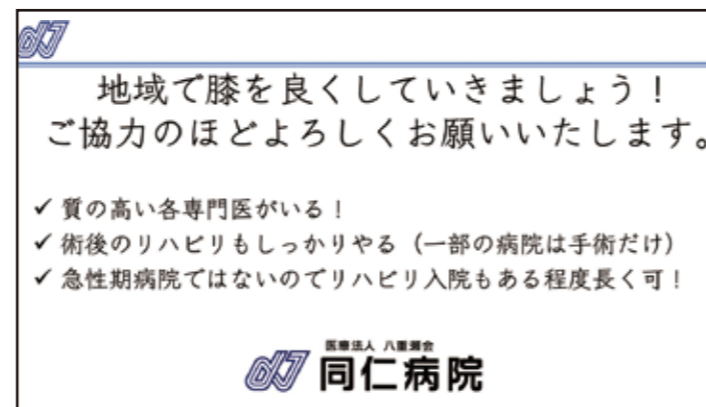
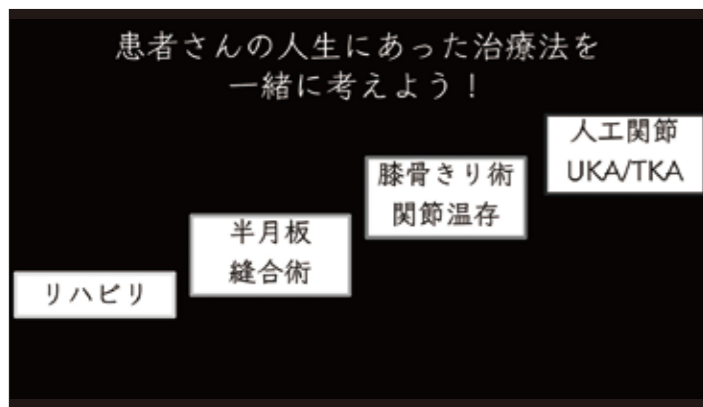
座長の照屋徹副会長



講師の同仁病院整形外科 医長 島川朋享先生



ご参加いただいた皆様から多くの質問や感想が飛び交いました



大変貴重なご講演をありがとうございました!

## 令和6年度 多職種連携・浦添市介護支援専門員等従事者研修会 報告

日時：令和6年11月14日（木） 13：30

場所：浦添市社会福祉センター 3階大研修室

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー事務局

去った11月14日(木)に、令和6年度多職種連携・浦添市介護支援専門員等従事者研修会を浦添市地域包括支援センターと合同で開催いたしました。

日頃から患者や利用者と携わる職員のモチベーションを保つために勉強会を開催することとなり、医療・福祉・事務職の35名の方にご参加していただきました。

今回の研修会テーマは「ハラスメント」に決定しました。「これって、ハラスメント？～みんなを守るチームの作り方～」と題し、講師にゆいま～る法律事務所 弁護士 寺田 明弘氏をお招きし、「ハラスメントとは」、「ハラスメントの対応方法」についてご講義を賜りました。

グループワークでは、最初にグループワーク①「ハラスメント経験の共有」として、グループ内で経験したハラスメントについて情報共有する時間を設けました。グループワーク②「今回の講義を聞いて、今後自分が活かせるような事」について討議・まとめ・発表をしていただきました。

研修会後のアンケート結果からは、「日常業務の中でハラスメントが起こっているのだと実感した」、「多職種の意見が聞けて参考になった」等のご感想をいただき、参加者の皆様が多職種間で意見交換しながら学ばれる様子が見受けられました。参加者の皆様、ご参加ありがとうございました。また、お疲れ様でした。

今年度も浦添市地域包括支援センターの皆さんのご協力をいただき、無事に研修会を終えることができました。また、大変ご多忙の中、急な依頼に講師をお引き受けくださりました、ゆいま～る法律事務所 弁護士 寺田 明弘 氏にはこの場をお借りして心より感謝を申し上げます。今回の研修会の課題や経験を踏まえ、今後もより内容の濃い研修会、参加しやすい研修会を企画していきたいと思っておりますので、引き続きご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



講師の寺田明弘氏

司会の下地さん

### 【グループワークの様子】



# 令和6年 浦添市医師会忘年会

日時：令和6年12月11日（水）19：30

場所：ラグナガーデンホテル 羽衣の間

浦添市医師会事務局

去る12月11日（水）ラグナガーデンホテルにおきまして、令和6年浦添市医師会忘年会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症が5類になってから2度目の今回の忘年会は、会員の先生方をはじめ医療関係者、浦添市役所、浦添市教育委員会や浦添市議会の皆様、自治会や社会福祉協議会など、多くの皆様にご参加いただきました。

宮良球一郎副会長の開会挨拶の後、洲鎌盛一会長より挨拶と事業報告があり、ご来賓の松本哲治浦添市長よりご挨拶を頂戴し、健康の大事さについてのお話をいただきました。その後、本会監事の平安良雄先生より乾杯のご発声をいただき華やかに開幕いたしました。

司会は照屋徹副会長と村山綾乃さん（星詠みパーソナリティー）のコンビでとても楽しく進行を務めていただきました。誠にありがとうございました。

今回はお肉が特に美味しいとのうわさ(?)で、早速ステーキコーナーは長蛇の列ができていました。事務局も合間に少しいただきましたが、とても味わい深く箸が止まらない美味しさに感動いたしました。

さて、みなさまお待ちかねの福引き抽選会では、又吉宣先生（げんか耳鼻咽喉科 院長 / 新理事）、新垣陽子先生（まちなと小児クリニック）、宮良美代子先生（宮良クリニック 院長）、洲鎌盛一会長にクジをひいていただき、抽選会を大いに盛り上げていただきました。福引き抽選会では皆さんの楽しそうな顔を見られることもひとつの楽しみとなっております。

最後に藏下要副会長より閉会の挨拶があり、盛会のうちに幕を下ろした忘年会でした。来年もぜひ多くの皆様にご参加いただけますことを楽しみにしております。ご参加いただき誠にありがとうございました。



(会長挨拶) 洲鎌盛一会長



(開会挨拶) 宮良球一郎副会長



(来賓挨拶) 松本哲治浦添市長



(乾杯の音頭) 平安良雄先生



(閉会挨拶) 藏下要副会長



(司会) 村山綾乃さん 照屋徹副会長



(1等) 那覇地区薬剤師会 吉田洋史会長 (2等) 大田クリニック院長 大田郁也先生 (3等) いきいき高齢支援課 棚原真澄係長が引き当てました! おめでとうございます!



## 新入会会員寄稿



### 「患者様とそのご家族の 人生に寄り添いたい」



てらすクリニック 院長 後藤 大智

自然の美しさや文化、人々の温かさに魅了され、沖縄に移住し、色々な方との御縁をいただき「てらすクリニック」を開業しました。当院は内科と精神科を標榜する訪問診療クリニックとして、地域の皆さまが安心して日常生活を送れるようサポートしています。特に精神科診療にも対応可能な訪問診療は、沖縄の地域医療において貴重な存在であり、この特徴を最大限に活かしながら日々の診療に取り組んでいます。

訪問診療では、患者様のご自宅という「ホーム」で見せる穏やかな表情や、病院では見られない生活の一面に触れることができます。その中で、患者様やご家族が抱える悩みや不安に向き合い、一人ひとりの価値観やライフスタイルを尊重することを大切にしています。例えば、自宅に帰ることで病状が改善したり、穏やかになる患者様を目にするたび、在宅医療の素晴らしさを実感します。

私たちの目指す医療は、単に病気を治すことだけではなく、患者様やご家族が人生の一瞬一瞬を大切に感じられるようなサポートをすることです。そうした医療を実現するために、当院ではフットワークの軽さを活かし、迅速で柔軟な対応を心がけています。さらに、患者様に寄り添うだけでなく、スタッフ同士の連携やコミュニケーションを重視し、診療チーム全体で患者様を支えられる体制を整えています。

また、地域での連携も非常に重要だと考えています。ケアマネージャー、訪問看護師、福祉職の方々をはじめ、地域の支援者の方々との連携を通じて、患者様やご家族を地域全体で支える仕組みを構築しています。この協力関係があるからこそ、訪問診療の現場で多くの患者様に寄り添うことができます。

クリニック名である「てらす」には、患者様やご家族の人生に温かな光を灯し、その人らしい生活を照らす存在でありたいという思いを込めています。沖縄の地で、多くの方々に信頼される医療パートナーを目指して、スタッフ一同、力を合わせて歩んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 表彰

(令和6年度)

### 沖縄県医事功労者医師会長表彰

棚田 文雄 先生 (浦添総合病院)

銘 莉 晋 先生 (浦添総合病院)

知念 靖 先生 (ちねん眼科)

國吉 真行 先生 (牧港中央病院)

### 令和6年度沖縄県学校保健功労者表彰

新垣 義清 先生 (まちなと小児クリニック)

### 沖縄県精神保健福祉事業功労者表彰

#### 特別功労者沖縄県知事表彰

山本 和儀 先生 (山本クリニック)

～この度の受賞、誠にありがとうございます～

# 表彰 令和6年度春の叙勲 瑞宝双光章受章



かりまた内科医院 理事長 狩俣 陽一 先生

本会元理事 狩俣陽一先生(かりまた内科医院 理事長)が令和6年度春の叙勲で瑞宝双光章を授章されました。

狩俣陽一先生は、昭和43年3月に県立三重大学医学部をご卒業し、県立三重大学医学部助手、三重県立総合塩浜病院に勤務され、昭和56年4月に帰沖したのち沖縄県立那覇病院での勤務を経て、昭和57年3月に浦添市内間にかりまた内科医院を開院。現在に至るまでの41年以上の永きにわたり地域医療・保健・福祉の向上に尽力されています。

この間、自院開設後の多忙な日常診療にも関わらず、医師としての使命から学校医として児童の健康管理、保健教育ならびに疾病予防はもとより、医師の専門的な立場から養護教諭ならびに教職員と緊密な連携の下、円滑な学校保健活動の推進と向上に尽力し、昭和57年4月より読谷村立喜名小学校の校医として1年間、昭和58年4月から平成3年3月までの8年間を沖縄県立浦添工業高等学校、平成3年4月から令和6年3月までの32年間を浦添市立神森小学校の校医として従事し、41年以上の永きにわたり寄与・貢献されています。

現在でも浦添市予防接種実施医療機関やがん検診実施医療機関として献身的に従事し、公衆衛生向上に尽力されているほか、自院開設当初より医療機関への通院が困難な患者宅への往診を積極的に行い、地域医療の向上に尽力されました。このことは現在の我が国が目指す地域包括ケアシステム構築の原型とも言え、40年以上前から現在の在宅医療にあたる地域医療活動を草の根的に実践・推進してきた功績は大変大きいものです。

平成21年に浦添市医師会内に設立された「浦添市在宅医療ネットワーク」においては世話人として参画し、自院の有床診療所の強みを活かし、機能強化型在宅療養支援診療所として地域内の在宅医療を標榜する開業医からの相談・紹介に応じるなど大きな役割を果たされ、現在でも在宅医療に献身的に携わっておられます。平成4年に設立された浦添市医師会では、設立初期の平成6年より理事として2期4年間、会員施設並びに関係団体との連携の下、円滑な会務運営に尽力されました。

長年の功績により、学校保健分野で平成10年6月に浦添市学校保健協会より浦添市学校保健会長表彰、平成24年2月に沖縄県学校保健協会より沖縄県学校保健功労者表彰、令和元年11月に文部科学省より文部科学大臣表彰を受賞されました。平成29年7月には浦添市医師会設立25周年記念として、浦添市医師会学校保健功労者表彰を浦添市医師会長より受賞されています。

また、医事功労分野において平成29年1月に沖縄県医師会より沖縄県医師会長表彰、公衆衛生分野において平成19年11月に沖縄県より沖縄県知事表彰、平成26年3月に日本公衆衛生協会より日本公衆衛生協会会長表彰、平成28年3月に厚生労働省より厚生労働大臣表彰を受賞されました。その他、平成12年7月には浦添市より浦添市地域医療功労賞を受賞されており、地域医療、公衆衛生、学校保健への献身的な貢献に尽くされており、その功績は極めて大きいものです。

この度の狩俣陽一先生のご授章は、浦添市医師会会員のみならず浦添市民にとりましても誇りとするものであり、慶賀に堪えません。改めて深い敬意と感謝の意を表します。誠におめでとうございます。



## 入会・退会・異動報告（令和6年9月～12月理事会）

入 会			
氏 名	医療機関名	診療科目	入会年月日
小泉 景星	浦添総合病院	循環器外科	R6.8.1
石橋 慧一	比嘉眼科	眼科	R6.10.1
金城 達也	具志堅循環器・内科	循環器内科、糖尿病内科、内科	R6.10.1

異 動			
氏 名	医療機関名	異動事由	異動年月日
星原 祐輝	浦添総合病院	会員区分変更	R6.4.1
國吉 眞也	くに整形外科	閉院、会員区分変更	R6.9.1
後藤 大智	てらすクリニック	名称変更	R6.12.1

退 会			
氏 名	医療機関名	退会事由	退会年月日
岩田 航右	浦添総合病院	退職	R6.3.31
屋島 福太郎	浦添総合病院	退職	R6.3.31
尾茂田 眞榮	浦添総合病院	退職	R6.3.31
宮國 翔平	浦添総合病院	退職	R6.3.31
上原 裕規	浦添総合病院	退職	R6.7.31
宮城 裕子	名嘉村クリニック	御逝去	R6.9.1
石田 航	比嘉眼科	医師会の異動	R6.9.30
大宜見 義夫	同仁病院	退職	R6.9.30
木村 聖美	乳腺・甲状腺クリニックうらそえ	退職	R6.10.14

## 訃 報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



令和6年9月1日御逝去

故 宮城 裕子 先生（享年 68 歳）

（名嘉村クリニック 訪問診療担当医師）



令和6年12月5日御逝去

故 豊見山 永昭 先生（享年 90 歳）

（元 豊見山産婦人科院長）

### 弔事に係るご連絡について(お願い)

浦添市医師会では浦添市医師会運営規定に基づき、会員並びに会員の一親等以内の親族の方が亡くなられた際は、供花、香典と共に新聞に弔慰広告を掲載し、弔意を表すこととなっております。

供花等を供する際の必要事項を記入する様式を備えておりますので、そのようなときは浦添市医師会へお電話にてご連絡下さい。

浦添市医師会 TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

沖縄県医師会 TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

# 理事会報告（令和6年9月～12月）

## 令和6年9月17日（火）19:00

1. 入会・異動報告
2. 会議・委員会・市民公開講座報告について
  - ・令和6年度第1回沖縄県医師会学校医部会常務理事会
  - ・令和6年度次世代の健康教育推進事業第1回検討委員会
  - ・令和6年度第1回おきなわ脳卒中地域連携員会総会
  - ・第25回うらそえ市民公開講座
3. 第65回浦添市医師会ゴルフコンペについて
4. 防災医療に関する浦添市との意見交換会について
5. 第63回地区医師会連絡協議会について
6. 発熱患者等の診療・検査体制に関する会員情報の取りまとめについて
7. 承認事項
  - ・浦添市高齢者インフルエンザ・新型コロナワクチン予防接種委託料見積書について
  - ・「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024おきなわ」後援・広告協賛について
  - ・沖縄県薬物乱用防止協会への寄付について
  - ・令和6年度沖縄平和賞支援募金について
8. 案内事項
  - ・かかりつけ医のための心不全セミナー ～病診連携Up to Data～について

## 令和6年10月21日（月）19:00

1. 入会・退会・異動報告
2. 会議・委員会等参加報告
  - ・令和6年度第1回沖縄県医師会産業医部会役員会
  - ・令和6年度多文化共生社会の構築に関する万国津梁会議
  - ・第63回地区医師会連絡協議会
  - ・令和6年度第1回浦添市健康づくり推進協議会
  - ・沖縄県医師国民健康保険組合設立50周年記念式典
3. 浦添市医師会と浦添市公立学校養護教諭との意見交換会について
4. 第153回浦添市医師会学術講演会について
5. 令和6年浦添市医師会忘年会について
6. 承認事項
  - ・同仁病院市民公開講座後援依頼について
  - ・第31回日本航空医療学会総会・学術集会市民公開フォーラム後援依頼について
7. 案内事項
  - ・沖縄県の未来の医療を考えるシンポジウムについて
  - ・令和6年度おきなわプライマリ・ケア研究会総会・特別講演会について
  - ・かかりつけ医のための心不全セミナー ～病診連携 Up to Date～について
  - ・田名毅沖縄県医師会長就任激励会について
  - ・「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024おきなわ」について

## 令和6年11月18日（月）19:00

1. 退会・異動報告
2. 会議・委員会等参加報告
  - ・令和6年度第1回外国人医療対策委員会
  - ・浦添市医師会と浦添市公立養護教諭との意見交換会
3. 第153回浦添市医師会学術講演会について
4. 令和6年度浦添市医師会忘年会について
5. 令和7年浦添市医師会旧正新年会の日程について
6. 新会員情報システム (MAMIS) について
7. 案内事項
  - ・各種叙勲・功労者表彰祝賀会について
8. 承認事項
  - ・WEB講演会「沖縄県難病医療・支援体制の新展開」後援について
  - ・第2回沖縄県の血液内科とかかりつけ医による地域医療連携講演会后援について
9. その他
  - ・インフルエンザの流行状況について

## 令和6年12月16日（月）19:00

1. 退会・異動報告
2. 会議・委員会等参加報告
  - ・第2回浦添市子宮頸がん検診受託施設意見交換会
  - ・令和6年度第1回沖縄県産業医研修連絡協議会
3. 1月二水会について
4. 令和7年浦添市医師会旧正新年会について
5. 令和6年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座について
6. 浦添市への高齢者インフルエンザワクチンならびに新型コロナウイルスワクチン接種期間延長の要望について
7. 案内事項
  - ・令和6年度かかりつけ医等心の健康対応力向上研修について
8. 募集事項
  - ・プロ野球オープン戦開催に伴う医師・看護師の派遣について
9. 承認事項
  - ・浦添市国際交流協会への入会について
  - ・第15回全国若年認知症フォーラムin沖縄後援依頼について
10. その他
  - ・沖縄県医師会の動向、情報提供・共有などについて

## 講演会・研修会等のご案内

予定が変更になることもございます。ご了承ください。

日時	講演会・研修会・行事名	場所	講師	日医生涯教育制度 カリキュラムコード
1/15(水) 19:00	二水会	浦添市医師会・ZOOM	座長：照屋徹先生(ていーら整形外科 院長) 講師：ジェイソン・チェン氏(浦添市国際交流課 国際交流員)	—
1/31(金) 19:00	浦添市医師会旧正新年会	PIZZA HOUSE 新本店	—	—
2/22(土) 14:00	うらっしー市民公開講座	アイム・ユニバース てだこホール小ホール	講師：仲宗根美紀氏(沖縄県理学療法士協会 理学療法士) 新屋洋平先生(ゆい住診クリニック 院長)	—
3/12(水) 19:00	第154回 浦添市医師会学術講演会	浦添市医師会・ZOOM	調整中	調整中
3/20(木) 7:06	第66回 浦添市医師会ゴルフコンペ	琉球ゴルフ倶楽部	—	—
3/24(月) 19:00	第66回 浦添市医師会定時総会	浦添市医師会	—	—
4/9(水) 19:00	二水会	浦添市医師会・ZOOM	外国人診療に関する勉強会(予定)	—
5/21(水) 19:00	第155回 浦添市医師会学術講演会	浦添市医師会・ZOOM	調整中	調整中
6/11(水) 19:00	二水会	浦添市医師会・ZOOM	調整中	調整中
6/23(月) 19:00	第67回 浦添市医師会定時総会	浦添市医師会	—	—

※浦添市在宅医療ネットワーク世話人会は毎月開催しております。詳細が決まり次第ご連絡申し上げます。

## 事務局からのお知らせ

### 浦添市医師会ホームページ掲載情報について

浦添市医師会ホームページでは会員医療機関の診療時間などを掲載し、広く情報公開をしています。診療時間、受付時間、診療科目の変更・追加などがある時は、浦添市医師会事務局へご一報下さいますようお願いいたします。

#### 浦添市医師会事務局

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362 E-mail:info@uraishi.or.jp http://www.uraishi.or.jp

### 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー 専用電話番号のご案内

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーの専用電話番号を設置しています。在宅医療・介護等についてのご相談はこちらの番号へおかけ下さい。  
FAXでのご相談の場合は、これまで通り浦添市医師会と共有です。

うらっしー専用電話番号 TEL:098-894-2698

## 浦添市医師会報へ掲載する表紙写真・会員寄稿 病院だより・診療所だより等のご寄稿を募集しております

本会では会報を年3回発行しており、よりおもしろく、よりためになり、親しみのある紙面作りをめざしています。

会報の表紙を飾る写真の投稿、随筆、書評、趣味の話・・・など、先生方の多岐にわたるご寄稿をお待ちしております。

昨今のコロナ禍で各種講演会等が延期となり、会員間の情報共有が取りづらくなっております。そこで、浦添市医師会報誌面を活用し、会員間、病院—診療所間の交流や各施設の情報提供などを目的として「病院だより」「診療所だより」のコーナーを設けております。お知らせ等お気軽にご寄稿いただけますと幸いです。

原稿は随時募集しておりますので、メールまたは郵送にて浦添市医師会あてお送りくださいますようお願いいたします。

メディカルスタッフの皆様にも、本会会報へのご投稿について、どうぞお声かけ下さいますようお願いいたします。

### 寄稿仕様

#### ①表紙の写真

写真タイトル・表紙のことば(簡単な説明)・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、浦添市医師会あてメールまたは郵送にてお送り下さい。

#### ②随筆・書評・趣味の話・その他

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、日常診療のエピソード、紀行文、書評、趣味などお気軽にご寄稿下さい。

#### ③病院だより・診療所だより

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、ご投稿ください。お知らせや診療についてのご案内等お寄せください。

※メールでお送り下さる場合は、件名に「浦添市医師会報寄稿」とご入力下さい。  
頂きましたご連絡先は、校正等のご連絡に使用させていただきます。

#### ★会報に関する問い合わせ先★

浦添市医師会事務局 〒901-2132 浦添市伊祖3-3-1 アルマーレ101

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

Email:info@uraishi.or.jp



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は元日の能登半島地震に始まり、4月には台湾花蓮地震に伴う県下での津波警報発令、8月には宮崎での地震に伴う南海トラフ地震臨時情報の発表、11月の山原での豪雨災害等多くの災害がありました。かねてより取り沙汰されている東南海地震の現実味と当地沖縄での被災の可能性を実感した一年でした。今年は大きな災害が起きないことを祈るばかりですが、日頃より防災の意識を高めておく必要があると痛感した次第です。

さて、令和7年新春号は洲鎌盛一会長の新年のご挨拶に始まります。第25回うらそえ市民公開講座は趣向を変えて映画上映会となりましたが、市民の皆様には概ね好評だったようです。第65回浦添市医師会ゴルフコンペの報告に続いて、当浦添市医師会が主催の第63回地区医師会連絡協議会報告となります。

第153回浦添市医師会学術講演会は同仁病院整形外科の島川朋享先生に「膝痛治療の最前線 海外で学んだ知見と最新のアプローチ診断～治療の選択肢まで」の演題でご講演いただき内容をご寄稿いただきました。整形外科以外の先生方にとりまして、膝関節専門医へ紹介する判断の目安として参考にいただければ幸いです。令和6年度の多職種連携・浦添市介護支援専門員等従事者研修会報告では「ハラスメント」についての研修会が行われました。

令和6年浦添市医師会忘年会報告、そして久しぶりの新入会会員寄稿では、てらすクリニックの後藤大智院長の訪問診療にける熱い思いを感じ取ることができました。今後、浦添の訪問診療ならびに浦添市医師会を盛り上げていただきたいと願っております。

表彰では沖縄県医事功労者医師会長表彰において棚田文雄先生、銘苅晋先生、知念靖先生、國吉真行先生、令和6年度沖縄県学校保健功労者表彰で新垣義清先生、沖縄県精神保健福祉事業功労者表彰・特別功労者沖縄県知事表彰に山本和儀先生が表彰されました。また、狩俣陽一先生が令和6年春の叙勲で瑞宝双光章を授賞されました。41年もの長きにわたる地域医療・学校医への貢献が評価されての受賞となりました。表彰された皆様、誠におめでとうございます。

以上、新春号は盛りだくさんの内容となっております。本年も皆様にとりまして幸多き一年となることを祈念しております。

副会長 照屋 徹（会員親睦・広報担当）

浦添市医師会報 2025年(令和7年)新春号 通算第96号

発行：一般社団法人浦添市医師会 発行人：洲鎌 盛一

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖3-3-1 101

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

E-mail info@uraishi.or.jp ホームページ <http://www.uraishi.or.jp>

制作/株式会社スイッチ

# 2025年FM21「ゆんたく健康トーク」出演予定表

(2025年1月～12月)

1月		2月	
13日	音楽放送	10日	浦添市いきいき高齢支援課
27日	まえだクリニック	24日	山本クリニック
3月		4月	
10日	名嘉村クリニック	14日	池村クリニック
24日	牧港中央病院	28日	まちなと小児クリニック
5月		6月	
12日	浦添総合病院	9日	具志堅循環器・内科
26日	徳山クリニック	23日	たつや整形外科
7月		8月	
14日	同仁病院	11日	比嘉眼科
28日	なしろハルンクリニック	25日	ていーら整形外科
9月		10月	
9日	嶺井第一病院	13日	宮良クリニック
22日	浦添市医師会事務局	27日	マンマ家クリニック
11月		12月	
10日	介護老人保健施設エメロードてだこ苑	8日	みやざと内科クリニック
24日	幸喜内科 糖尿病・甲状腺クリニック	22日	平安病院

ラジオ  
番組

浦添市医師会提供

「ゆんたく健康トーク」

毎月第2・第4月曜日

午後8時～9時

月2回

FM21 (76.8Mhz) で好評放送中！

## FM21「ゆんたく健康トーク」 ♪♪ 放送形態変更のご案内 ♪♪

「FM21ゆんたく健康トーク」は、  
毎月第2・第4月曜日の午後8時からの放送です（月2回）。  
会員施設のみなさまには引き続き  
ご出演・ご視聴いただきますようお願い申し上げます。